

まちづくり新聞



第49号

令和6年8月1日発行

発行：瑞浪地区まちづくり推進協議会

編集：総務広報部

発行責任者：坂井宗明



5月19日(日) 小雨降る中、上山田の「家族ふれあい農園」で、13家族43人の家族とまちづくりスタッフ20人が参加して、モチ米苗の田植えとさつま芋苗500本を植え付けました。昨年まで植えていた里芋の育ちが悪く収穫もほとんどできなく困っていたが、地域の方の提案で「モチ米の苗を植えてみては？」のご意見があり変更しました。田植えで初めて田んぼに入る子どもたちにとっては大冒険でした。田んぼの水が冷たくて足が痛かったり、泥が気持ち

農業体験

「田植えと

さつま芋の苗植え」

悪かったりして逃げ出したりする子もいましたが、お父さん達の協力もあり苗をひもに沿って植えることができました。水田に尻もちをついてしまつてズボンが汚れる子もいましたが、それも笑い話になりました。



このイベントは、単に農作業を体験するだけでなく、地域コミュニティの絆を深める機会でもあります。集まった人々が協力し合い、一緒に作業をすることで、地域の連帯感が育まれます。

田植えやサツマイモの植え付け体験は、食べ物への価値を再認識し、地域の文化や伝統を学ぶための貴重な農業体験でした。



6月3日(月)の夕方7時30分から、山田町の「ダイナム岐阜瑞浪店」の駐車場で、「ホテルを観る会」が、地域の子ども会「瑞子連」との協力のもと、今年も大成功を収めました。このイベントは、自然を守る活動の一環として企画され、参加者は430人を超え、地元地域貢献活動企業から提供されたゲームや手花火、風船、綿菓子などのアトラクションがあつという間に品切れになるほどの盛り上がりを見せました。子どもたちはゲームやたこ焼きを楽しみながら、万尺川のヨシの葉の上を飛び交うホテルの光に魅了されました。家族連れが集まり、ホテルの幻想的な光景を楽しむ姿は、まさに夏の夜の風物詩です。このイベントは、地域の絆を深めるとともに、自然環境の大切さを次世代に伝える素晴らしい機会となりました。

「ホテルを観る会」

大盛況！



がりを見せました。子どもたちはゲームやたこ焼きを楽しみながら、万尺川のヨシの葉の上を飛び交うホテルの光に魅了されました。家族連れが集まり、ホテルの幻想的な光景を楽しむ姿は、まさに夏の夜の風物詩です。このイベントは、地域の絆を深めるとともに、自然環境の大切さを次世代に伝える素晴らしい機会となりました。



令和6年度

瑞浪地区まちづくり推進協議会

組織と推進事業

瑞浪地区区長会

顧問：伊藤 修二
// ：小寺 敏夫
// ：滝川 直樹
// ：薄井 義彦
監事：井澤 洋司
// ：柴田 勲

会長 坂井 宗明
副会長 河口 敦子
副会長 伊藤 猛司

参与(総務広報担当)：樋田 翔太
// (防災防犯担当)：柴田幸一郎
// (健康福祉担当)：辻 正之
// (青少年育成担当)：渡邊 康弘

社会福祉法人 千寿会

瑞子連会長 齊木 祐月

総務広報部 (絵手紙・ちぎり絵教室・花壇整備事業・まちづくり新聞・MIZUNAMI 情報記者クラブ)

部長 肥田秀子 副部長 大西雅之 副部長 渡邊佐登美
平井賢一(中組) 森本則子(元町) 早川史代(西本町) 伊藤正広(公園) 神谷良三(上一色)

防災防犯部 (AED 講習会・自主防災訓練・青色回転パトロール)

部長 有賀保英 副部長 柴田幸一 副部長 有賀正明
山田峰雄(入ヶ洞) 高橋弘典(下小田) 遠山義人(上本町) 堀 正幸(ひばりヶ丘)
市川孝之(下一色) 伊藤 健(紺屋原) 金子雅樹(中屋敷第一) 岩島 学(和合)

健康福祉部 (土岐川堤防健康ウォーキング・子ども、高齢者見守り隊活動・男女共同参画事業)

部長 伊藤猛司 副部長 金井 博 副部長 有賀崇晃
奥谷輝久(竜門) 佐々木亮(上小田南) 小栗幸男(水の木) 西田 彩(大法原団地)
岩島正和(北上野) 深川拓也(大法原) 竹山和貴(中原東) 安藤康和(中原西)
尾関拓也(西原) 木股秀樹(千寿会) 竹山智明(千寿会)

青少年育成部 (家族ふれあい芋ほり大会・瑞浪美化チーム・自然を守る活動・みずなみ夏の寺子屋・町民会議)

部長 萩尾英明 副部長 岩島時男 副部長 岩島辰也
保母秀行(浪花) 長谷川利恵(下山田) 伊藤忠憲(上小田北) 新井徳寿(高月)
鈴木三枝子(明賀台) 宮地伸太郎(穂並) 島田美由紀(下山田団地) 若尾昌徳(南上野)
加藤隆文(東原) 西尾英弘(竹尾) 加藤孝幸(市場) 成瀬幸男(台) 安藤英雄(上山田)

夢づくり地域活動支援室

地区支援総括：安藤 洋一
まちづくり支援総括：林 和治
まちづくり支援職員：西川みちる
瑞浪地区集落支援員：長瀬 貞次



令和6年度 瑞浪地区まちづくり事業計画

安全安心なまちづくり事業

- 1. 青色回転灯防犯パトロール**
地域の安全を守るために巡回パトロールを行うものです。今年度は、年間40日延べ120人の参加を予定します。
- 2. 自主防災訓練**
災害に関する知識や防災意識を高めるとともに、家庭や職場での緊急時の対処方法などについて図上訓練で学びます。各自治区の自主防災訓練の「きっかけ」にしてください。
- 3. AED・心肺蘇生法講座**
この講習会は尊い命を救うために必要な知識と技能を身につけることを目的として行います。
- 4. 子ども・高齢者見守り隊活動**
いきいきサロンなどのイベントに子どもたちが参加し、高齢者との触れ合いを通じて交流を深める活動を行います。近い将来組織的な体制へと整えて見守り活動を行います。
- 5. 土岐川堤防健康ウォーキング**
参加者の健康と交流を促進する活動として、簡単なウォークラリーゲームなど家族で楽しめるウォーキングイベントです。今年度から春1回で5月26日開催しました。

潤いのあるまちづくり事業

- 1. 花の苗の配布**
地域の美化と潤いのある環境づくりを目的として、瑞浪地区にある長寿会などの団体に春・秋の年2回花の苗を配布します。
- 2. 心和ませ自然を守る活動**
 - ①チームホタル
万尺川を「ホタルが居つく川」にするため幼虫を飼育していただく里親を募集。万尺川の清掃活動と「ホタルを観る会」を実施します。
 - ②フジバカマの植栽活動（アサギマダラ蝶との関係）
フジバカマの苗を植栽し日本で唯一の渡り蝶のアサギマダラを呼び込み、自然環境と命の大切さを子どもたちに感じていただきます。
- 3. 絵手紙・ちぎり教室**
手作りの素晴らしさや温もりを味わいながら、参加者相互のふれあいを目的に、年6回開催します。
- 4. 男女共同参画事業**
男女平等や多様性について理解を深めるため「男女共同参画社会」に関する講演会を開催します。
- 5. 環境美化チーム**
環境美化と地域コミュニティの活性化を目的に、組織的な体制へと整えます。環境美化活動として自走草刈り機の講習会を開催します。

地域内の交流が活発なまちづくり事業

- 1. 体験農業**
 - ①田植え、さつま芋苗、ポップコーン用苗の植え付け
田植えなど農業体験を子どもが主役となって地域ぐるみで家族ぐるみで実施、地域の絆を強くします。
 - ②稲刈り
収穫の喜びを味わうことで地域と家族の絆を深めます。
- 2. 家族ふれあい芋ほり大会**
自然との触れ合いを感じ、地域での交流を通じて家族の絆を深めることが目的です。秋には収穫祭として芋ほり大会を実施します。
- 3. 自然とのふれあい活動**
 - ①にほんミツバチ飼育と密蜂
自然環境でミツバチが野菜や果樹に果たしている役割などを学習します。ミツバチ蜂群誘導飼育方法などを地域の養蜂家から学び飼育します。
 - ②昆虫採集
地域の子供たちに、身近な昆虫に興味を持ってもらうと同時に昆虫が生存できる自然環境の大切さを伝えていきます。
- 4. みずなみ夏の寺子屋**
子どもたちの居場所創りに夏休みを利用して、「寺子屋」を駅前の賑わいづくりを兼ねMビルを利用して開設と運営をします。

広報事業

- 1. 広報紙まちづくり新聞の発行**
まちづくり推進協議会では、地域の皆様に活動内容や事業の目的をお伝えするために、まちづくり新聞を年2回（8月と3月）発行しています。
- 2. MIZUNAMI情報記者クラブ**
まちづくりの取り組みやイベント情報を効果的に地域へ届けるために、情報記者クラブを設置しタイムリーにお知らせします。
- 3. その他乃広報事業**
野立て看板には、まちづくり事業の「活動スローガン」が記載されています。下山田団地・入ヶ洞池・まちづくり農園の3カ所を張り替える予定です。

瑞浪美化チーム草刈り隊

4月13日(土)午前8時から、瑞浪地区まちづくり草刈り隊の寺河戸山田部隊が、学童の登下校する歩道の草刈り活動を行いました。通りかかりの車の運転手さんや近隣の方から「ご苦労様です。」の掛け声に、竹ぼうきを持つ手に快い気持ち伝わってきました。草刈り隊は今年度、寺河戸地区・山田地区・小田地区の3地区に発足する予定で活動しています。



絵手紙・ちぎり絵教室

5月4日(土)に瑞浪市役所西分庁舎会議室で行われました。参加した19名は、絵手紙やちぎり絵の技術を学ぶことで自分の作品を通じて個性を表現し、手作りの作品の温もりを共有することができたと感じます。



土岐川堤防健康ウォーキング

5月26日(日)5月晴れの中、恒例の土岐川堤防健康ウォーキングが129人が参加して開催されました。今年度は春のみという事や新聞チラシの効果もあり、多数の参加がありました。交通安全協会、高松観音奉賛会の協力で無事終了することができました。また今回は初の試みとして土岐川の4つの橋でクイズを楽しんでいただきました。



花の苗配布

5月31日(金)午前9時から、瑞浪市役所西分庁舎前で自治会や町内会に所属する長寿会など30団体に、マリゴ・イルドなど5種類の花の苗を無料配布しました。この配布は、コミュニティ花壇整備事業として瑞浪地区まちづくりが、地域の公園、公民館などの花壇を美しくするためにを行っています。



令和5年度まちづくり事業の総括

昨年度、瑞浪地区にお住いの一般の方の有志を交えて「瑞浪地区地域計画」策定のため3回のワークショップを開催いたしました。瑞浪地区の現状、長所短所を確認しつつ10年後の瑞浪地区の姿を思い浮かべ、どのような街にするのか、そのためにどんなことをやっていくのかを考える、そういったプロジェクトでした。言うまでもなく、すぐに頭に浮かぶ課題は少子高齢化と人口減少ですからそういった問題を軸にしたものが多く出てくるのが予想されました。高齢者の地域での見守りや外から見て魅力ある地域創造、自然環境の維持などの提案の中、多くのワークショップ参加者が一番取り上げてほしいと考えたのは、その少なくなっていく子供を見守っていこう、というものでした。地域で子供を見守ろうという考え方は、現在瑞浪小学校中学校とともに進めている「コミュニティスクール」の考え方とも合致しており、これは偶然ではなく必然ではないか、と思います。

この地域計画に基づいて今年度新たに取り組むのが「夏の寺子屋」事業。地域内小学生を対象に夏休みに子どもたちを寺子屋的に預かろう、という事業です。今までのまちづくり事業と違うのは、今までのまちづくり事業が役員と部会員によって運営していたのと異なり、いわゆる実行委員会式に運営していくところです。つまり、まちづくり協議会が主催者として予算立てし監修するのですが、実際の運営は外部の実行委員会組織に任せる、というものです。今まで他の団体と共催ということはあったものの、この方式は初めてであり、こういった事業は今後増えていくことが、まちづくり＝ひとづくり、ということへの実践へつながると思います。

このほかに通学路の草刈りを行う「草刈り隊」のボランティア組織で間接的に子供を見守る事業を新たに立ち上げております。今後は実行部隊という立場だけでなく企画や監修組織としての活動も増やしていきたいと考えています。

皆様の一層のご協力をお願いいたします。

瑞浪地区まちづくり推進協議会
会長 坂井 宗明

令和6年度 瑞浪地区まちづくり主な行事予定

日時 (開催時間)		行事名
8月	1日(木)	まちづくり新聞49号発行日
	3日(土) 19:30	昆虫採集
	18日(日) 9:30	自主防災訓練
9月	7日(土) 13:30	第3回絵手紙教室・ちぎり絵
	15日(日) 9:00	稲刈り
	21日(土) 9:00	瑞浪美化チーム講習会・草刈り
10月	5日(土) 13:30	第4回絵手紙教室・ちぎり絵
	20日(日) 9:00	第5回家族ふれあい芋ほり大会
11月	8日(金) 9:00	花の苗配布(秋)
	14日(木) 18:30	普通救命講習会
	16日(土) 9:30	普通救命講習会
12月	7日(土) 13:30	第5回絵手紙教室・ちぎり絵
2月	1日(土) 13:30	第6回絵手紙・ちぎり絵教室
	22日(土) 10:00	長寿会と昔の遊び
3月	1日(土)	まちづくり新聞50号発行日
	22日(土) 13:00	万尺川清掃と幼虫を放流

お問い合わせ
お申し込み

瑞浪地区まちづくり推進協議会事務局(瑞浪市役所西分庁舎内 集落支援員 長瀬)
TEL.56-0130(外線直通) FAX.68-2132
e-mail: sadaji.nagase@city.mizunami.gifu.jp
https://www.city.mizunami.lg.jp

瑞浪地区
ホームページ

